

市民公開講座 & 顕微鏡体験 ワークショップ

- 開催日 -

2026年5月24日(日)

- 会場 -

仙台国際センター 展示棟

主催：公益社団法人日本顕微鏡学会

後援：仙台市教育委員会

1. 市民公開講座

事前申込制

参加費無料

日時 2026年5月24日(日) 13:00~14:30 定員 350名

■申し込み方法

参加申込は QR コードまたは URL から学術講演会のホームページにアクセスし、必要事項をご入力ください。

URL : <https://conference.wdc-jp.com/microscopy/conf2026/lecture-ws.html>

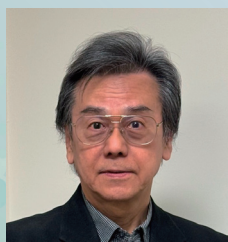


※申込開始は 2026 年 4 月以降の予定です。

※ご参加は原則事前申込制です。当日空席がある場合は、申し込みなしでもご聴講いただけます。

講演 1

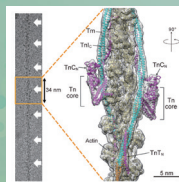
生命を支える タンパク質分子の機械



難波 啓一 先生

大阪大学 大学院生命機能研究科・
日本電子 YOKOGUSHI 協働研究所
特任教授

私たちの命を支えている様々なタンパク質は数多くの原子を部品に立体的に組み立てられ機械のように複雑な構造を持った分子です。ナノメートルサイズなのでナノマシンとも呼ばれます。最先端のクライオ電子顕微鏡を使うとわずかな水溶液試料でタンパク質分子の立体構造が詳細に見えて、動作の仕組みがわかるようになりました。医学や創薬にも貢献する最近の技術進歩についてご紹介します。



心筋の収縮弛緩(鼓動)を制御する心筋細胞の細い繊維の分子構造



細胞のペン毛運動を駆動する回転モータとプロペラ繊維と自在継手



クライオ電子顕微鏡で解析された数々のタンパク質分子機械の構造

講演 2

音楽創作あれこれ～ マクロとミクロの音世界



秩父 英里 氏

本講座「音楽創作あれこれ～マクロとミクロの音世界」は、作曲・演奏をはじめ多彩な領域で活動する音楽家の秩父英里さんによる、音の世界を探る市民公開講座です。曲の全体像や構成、コンセプトなどの“マクロ”な視点と、楽器や音色、響き、メロディなど音楽を形づくる要素に注目する“ミクロ”な視点を行き来しながら、実際に音楽が生まれるプロセスを辿ります。専門的な知識は必要ありません。音を「聴く」「作る」「感じる」楽しさを共有し、新鮮で豊かな創造の旅へ出かけましょう。



秩父 英里 氏
演奏風景

